

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018年 12月 5日作成

研究課題名	透析患者における総胆管結石に対する内視鏡的治療の有用性を検証する多施設共同後ろ向き観察研究
研究の対象	総胆管結石に対して、2015年1月から2018年1月までに内視鏡的胆管結石除去を施行した維持透析中の症例を対象とする。
研究目的 ・方法	当施設および関連施設において2013年1月から2018年1月までに総胆管結石に対して内視鏡的治療を行った維持透析症例について、背景因子、結石因子、施行した内視鏡治療、偶発症について後方視的に検討し、有用性・安全性を検証する。
研究期間	西暦 2019年 4月 1日～ 西暦 2023年 1月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	上記研究対象における、年齢、性別、合併症、抗血小板薬・抗凝固薬内服歴、透析導入となった原因疾患、透析期間、透析時の使用抗凝固薬、結石の大きさ、結石の個数、胆管径、胆嚢結石の有無、乳頭処置の種類、完全切石までの処置回数、偶発症の種類と重症度、以上の情報を用いる。
外部への 試料・情報の 提供	本研究は多施設共同研究のため、当院における匿名化したデータベースをパスワードでロックされたファイルとしてインターネットを用いずに、主研究機関研究責任者である横浜南共済病院消化器内科医長金子卓医師へ直接渡す。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	ありません
研究組織	研究代表者：横浜南共済病院消化器内科・金子卓。当院における責任者：消化器病センター・三輪治生。研究参加施設・責任者：済生会横浜市南部病院消化器内科・石井寛裕、横浜市立大学附属病院消化器内科・入江邦泰

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科（研究責任者）三輪 治生

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9492